

水辺のごみ見つけ！ 調査について

■ 調査概要

本調査では生き物や自然界への影響を及ぼすごみの散乱状況を全国規模で把握し、ごみの散乱防止対策、水辺の環境保全活動へ役立てることを目的とします。

調査は、身近な水辺で調査項目のごみを拾って、その個数を数えます。拾えない場合は、その数を数えるだけでも構いません。結果をEメール等で報告ください。後日、全国の調査結果を公表します！

■ 調査の場所

身近な水辺ならどこでも構いません(河川、用水路、湖沼、海岸)。水辺の近くに散乱しているごみを調査します。
※外部との流出入のない沼・ため池・田んぼ、水面・水中なども対象となりますが無理しないでください。
※河川敷(高水敷)も調査の対象となります。

■ 注意

水辺での調査ですので、無理をしないで、毒ヘビやスズメバチなど危険な生き物、足元などに注意しながら調査ください。水面・水中での活動以外は、水の中には入らないよう注意ください。水面・水中で活動する場合には、必ずライフジャケットを着用し、安全に配慮下さい。

詳しくは▶ [水辺のごみ見つけ](http://kawagomi.jp/mikke/) [検索](#)
<http://kawagomi.jp/mikke/>

■ 実施方法

○事前準備:

- ・大量のごみの回収が見込まれる場合は、処理方法について、必ず事前に自治体にご相談ください。(多くの自治体の場合ボランティアが回収したゴミについては自治体の協力をいただくことができます)
- ・記録用紙を必要部数をご用意ください。

○当日:

- ・水辺で、調査項目のごみをそれぞれ別の袋に入れて回収し最後にまとめて数えて記録してください。(大量のごみがあるところでは、数えながらゴミ袋に入れることを推奨します)
- ・活動後に、調査参加の皆さんと「何でこのごみがあるの?」「このごみを無くすにはどうすれば良いの?」などを話し合ってみましょう!
- ・回収したごみは自治体の規則に従い、適切に処理をしてください。

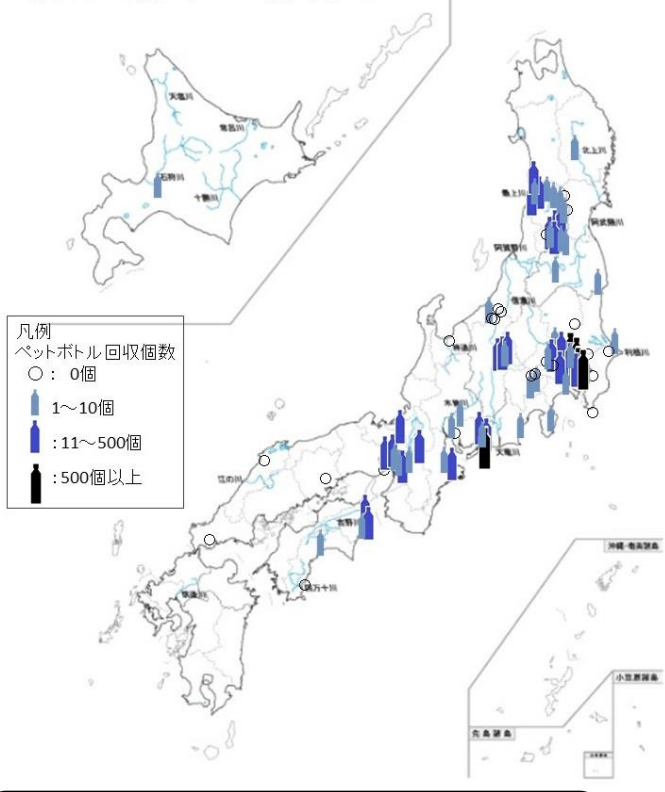
○実施後

- ・報告シートに集計した結果を記入し、Eメール(またはFAX)で、お送りください。活動写真も別途添付お願いします。エクセルの報告シートはホームページに用意しています。報告先アドレス kawa53@kawagomi.jp

水辺のごみ見つけ! 2017 (全国水辺のごみ調査) **たくさんのご参加ありがとうございました!**

◆ 調査実施場所

<水辺のごみ見つけ! 2017調査地マップ>



2017年は調査地点が広がりました!

(2016年) 205地点 → (2017年) 264地点
(13都府県) (25都道府県)

◆ 参加者のコメント (一部抜粋)

■ 多かったごみ、気になったごみ

- ・たばこ、ビニール片、お菓子の袋やお弁当などの容器
- ・自動車用タイヤ、バイクの排気筒
- ・ハウス用のナイロンだと思われる大きなビニールを多く回収

■ 感想など

- ・おたまじゃくしやザリガニ等生き物も多かったです。
- ・調査時には植生の中にカルガモの営巣が確認され、ゴミの漂着、堆積による鳥類など生きものへの影響が懸念される。
- ・増水した時に、川の木の高いところにビニールがひっかかっていた。
- ・駅前周辺であり、コンビニもあるため、関連するごみが多くみつかった。また、3日前の降雨によって流されていることも想定される。

調査実施団体 (一部抜粋): 三笠イオンチアーズクラブ、雲石町児童館わーくでんぱー、NPO法人パートナーシップオフィス、美しい山形・最上川フォーラム、阿賀野川川の達人の会、とちぎイオンチアーズクラブ、イオン入間店チアーズクラブ、(一社)全国上下水道コンサルタント協会、イオンチアーズ市川妙典店、全国上下水道コンサルタント協会、イオン鴨川チアーズクラブ、イオン成田チアーズクラブ、日本山岳会東京多摩支部自然保護委員会、隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会、イオン日の出店 チアーズクラブ、NPO法人多摩川センター、(株)エイト日本技術開発、川づくり・清瀬の会、自由学園、世田谷環境学習会、荒川クリーンエイド・フォーラム、パナソニックグループ労働組合連合会神奈川県支部、NPO法人多摩川エココミュニティ、自然環境見守り隊、イオン新発田チアーズクラブ、越後新川まちおこしの会、みずとみどり研究会、みずねつと☆おもがわ、富士川ファンクラブ・三珠地区、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会、下諏訪南小学校、相賀の里を良くする会と島田市相賀小・w校4年生、南陽イオンチアーズクラブ、庄内川に中川区の木黒松並木づくり隊、(社)Clear Water Project、虹のとびら表浜BLUE WALKグループ、板東自治会、釣り人による清掃活動(淡海を守る釣り人の会)、こども海ごみ探偵団、大東フレンドフォーラム&大阪産業大学エコ推進プロジェクト&寝屋川・恩智川流域環境フォーラム&だいたう森づくりクラブ&大阪産業大学エコ推進プロジェクト、ガールスカウト大阪第21団、たかつき環境市民会議 水環境保全グループ および 有志市民、イオン出雲チアーズクラブ、倉敷イオンチアーズクラブ マスカット隊、下関市立殿居公民館ちびっこ教室、NPO法人新町川を守る会、四万十町立北川小学校5,6年、イオンチアーズクラブ(高知)、その他個人多数

ごみを調査することにより、水辺のごみへ目を向け、
何でごみがあるのかを考え、周囲の環境への関心を高めました。



5/28瀬田川 (滋賀県大津市)

6/17隅田川 (東京都台東区)

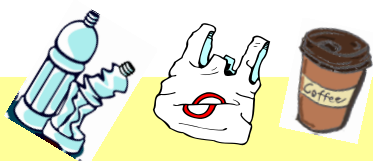
8/11諏訪湖 (長野県下諏訪町)

10/4馬見ヶ崎川 (山形県山形市)

水辺のごみ見つけ！2017（全国水辺のごみ調査）の結果

水辺には、たくさんのごみが散乱しています

◆調査結果



()は2016年個数

○ 飲料ペットボトル: **40,802個** (50,347個)※注1

○ レジ袋 : **13,352個** (11,343個)

○ カップ型飲料容器: **1,712個** (1,049個)

◆調査人数・地点数など

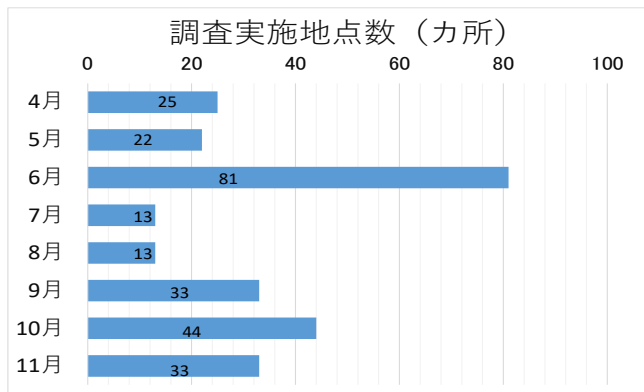
- 参加人数 のべ **10,032**人
- 調査地点 **264** 地点
- 調査範囲計(水辺の長さ) 186.48km

2017年は2年目の実施。新たな調査地点も増え、調査参加人数も増えました。

※注1)2017年は、ペットボトルの回収数が減少していますが、2016年に大量に回収した調査地点(1地点で約2万個)での実施が無かったことに因ります。水辺のペットボトル散乱数が減ったのではないと考えます。

◆調査時期

月別の調査実施地点数は右グラフの通り。
6月に最も多く調査が実施されました。なかでも、6月4日の身近な水環境の全国一斉調査に合わせてごみ調査も実施された団体・個人が多いようです。
6/3・4日(土・日)だけで、45カ所で調査が実施されました。



◆調査地別の集計

本調査実施場所を、川/海/湖沼でそれぞれ集計した結果は以下となります。

	調査地点数	参加人数 (人)	調査範囲計 (km)	ペットボトル 数(個)	レジ袋数 (個)	カップ型飲料 容器数(個)
川	244	8,962	134.58	34,172	10,183	1,097
海	13	661	41.76	6,454	3,029	507
湖沼	7	409	10.15	176	140	108
合計	264	10,032	186.49	40,802	13,352	1,712

全国の川沿いの244地点(のべ134.58km)で
34,172個のペットボトルを数えた。

◆調査結果からの推測

調査距離は、日本の河川(一級、二級、準用河川の総延長144,046km)の0.093%
これより推測すると、

**国内河川に
約4,000万本の
ペットボトルがあることになる。**



ペットボトル4,000万本を並べると、
那覇一稚内(2,473km)より遠く
(1本65mmで計算)

※本結果を、PETボトルリサイクル推進協議会(専務理事)にお伝えしました
相当量のペットボトルが川や海に散乱している状況をご理解いただきました。

きちんと回収されないと、川や海などに流出することになります。
『決められた回収場所にきちんと出すことが大切です!』と、お話しいただきました。
市民、業界団体等が共に、自然界に散乱するペットボトルを減らさなくてはなりません!

◎日本の清涼飲料用PETボトルの出荷本数は、227億本(※)

◎PETボトルのリサイクル率は、83.9%(※)

※:PETボトルリサイクル推進協議会2016年度データより